

#### 4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおり、725億3,047万3千円で、前年度の733億7,938万7千円に比べ、8億4,891万4千円、1.2%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	平成14年度 当初予算額 (A)	平成13年度 当初予算額 (B)	比較	
			増減 (A) (B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
病院事業	23,857,164	22,076,057	1,781,107	8.1
水道事業	26,440,772	25,579,800	860,972	3.4
工業用水道事業	14,199,188	17,532,252	3,333,064	19.0
電気事業	8,033,349	8,191,278	157,929	1.9
合計	72,530,473	73,379,387	848,914	1.2

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

#### 病院事業会計

本年度を初年度とする第2次三重県病院事業経営健全化計画を着実に実践することにより、県立病院の基本理念を追求し、経営の健全化を定着させ、県立病院としての役割を果たします。このため、機能の健全化・収支の健全化・自立の健全化が着実に達成できる新たな経営指標によるマネジメントシステムを構築し、病院事業の成果を多面的に評価し、公表します。

##### ア．業務の予定量

(ア) 病床数 1,286床

(イ) 患者数

	年間	1日平均
入院患者数	427,050人	1,170人
外来患者数	528,875人	2,159人

イ．収益的収支 収入 19,589,922千円 資本的収支 収入 1,110,819千円  
支出 20,193,349千円 支出 3,663,815千円

平成14年度の主要事業としましては、志摩病院外来棟建替整備、総合医療センターの診療機能充実・強化のためのMRI装置などの機器整備を行います。

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益158億8,295万1千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益37億697万1千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費100億9,349万4千円、薬品費などの材料費41億562万8千円、事業運営経費24億4,623万2千円、施設・器械備品などの減価償却費16億5,398万9千円等の医業費用184億1,065万5千円と、支払利息などの医業外費用10億8,269万4千円、過年度の退職給与引当金としての特別損失7億円です。以上の結果、収支差引で、6億342万7千円の当期純損失を計上しましたが、特別損失を除くと9,657万3千円が経常利益となります。

次に、資本的収入は、県費負担金6億1,581万9千円、企業債4億9,500万円です。

一方、資本的支出は、志摩病院外来棟整備のための調査委託費、一志病院の冷暖房設備監視装置更新などの病院増改築工事費で9,918万円、各病院の医療機器購入など資産購入費6億4,090万6千円、企業債償還金9億2,372万9千円、長期借入金償還金20億円です。

## 水道事業会計

水道事業は、津市、久居市を含む2市7町1村を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m<sup>3</sup>）、四日市市、桑名市及び鈴鹿市を含む3市6町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量137,700m<sup>3</sup>）、伊勢市、松阪市及び鳥羽市を含む3市12町1村を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量169,150m<sup>3</sup>）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

また、北勢地域の水需要に対応するため、長良川河口堰を水源とした北勢広域水道拡張事業を、また、伊賀地域の水需要の伸びに対応するため、川上ダムを水源とした伊賀広域水道建設事業をそれぞれ実施します。

### ア．業務の予定量

年間総給水量 80,656,335m<sup>3</sup>

1日平均給水量 220,976m<sup>3</sup>

イ．収益的収支	収入	13,907,568千円	資本的収支	収入	5,593,712千円
	支出	13,187,060千円		支出	13,253,712千円

収益的収入は、給水収益125億7,345万6千円とその他営業収益を合わせた営業収益125億7,850万3千円、及び一般会計補助金10億126万円等の営業外収益13億2,906万5千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用84億6,902万6千円と支払利息等の営業外費用47億1,603万4千円が主なものです。以上の結果、収支差引、7億2,050万8千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、北勢広域水道拡張事業等に充当する企業債26億6,900万円や一般会計出資金22億6,313万2千円及び国庫補助金6億4,175万2千円が主なものです。

資本的支出は、北勢広域水道拡張事業等の建設改良費37億4,237万6千円と企業債等の償還金95億1,133万6千円です。

#### ウ．主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道の改良事業のほか、北勢広域水道拡張事業、伊賀広域水道建設事業を実施することとしています。

#### 主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H14	964,934	964,934	既設水道事業の設備改良
北勢水道改良事業	H14	183,446	183,446	既設施設の改良
北勢広域水道拡張事業	H10～19	37,410,000	1,288,000	目標日量47,600m <sup>3</sup>
伊賀広域水道建設事業	H10～16	36,100,000	850,000	目標日量48,500m <sup>3</sup>

## 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m<sup>3</sup>）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m<sup>3</sup>）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m<sup>3</sup>）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m<sup>3</sup>）により、工業用水の供給をしています。

また、県下の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等の既存施設の計画的な改良工事を実施します。

#### ア．業務の予定量

- (ア) 給水会社数 89社  
 (イ) 年間総給水量 243,593,890m<sup>3</sup>  
 1日平均給水量 667,381m<sup>3</sup>

イ．収益的収支 収入 6,949,133千円 資本的収支 収入 3,765,200千円  
 支出 6,639,329千円 支出 7,559,859千円

収益的収入は、給水収益63億9,609万8千円とその他営業収益を合わせた営業収益69億3,779万8千円及び受取利息等の営業外収益1,133万5千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用54億28万1千円と支払利息等の営業外費用12億3,704万8千円が主なものです。以上の結果、収支差引3億980万4千円の利益を計上しまし

た。

次に資本的収入は、北伊勢工業用水道改良事業等に充当する企業債15億8,400万円や一般会計出資金16億8,153万7千円及び国庫補助金4億6,030万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費39億2,149万4千円と企業債等の償還金36億3,836万5千円です。

#### ウ．主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

#### 主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H14	391,753	391,753	既設工業用水道事業の設備改良
北伊勢工業用水道改良事業	H14	2,526,363	2,526,363	既設工業用水道の改良

## 電気事業会計

電気事業は、宮川第1、第2、第3、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において発電を行っています。また、未利用な廃棄物エネルギーの高効率なサーマルリサイクルを実現するためのモデル事業として、多度町にRDF焼却・発電施設を整備します。

#### ア．業務の予定量

年間販売電力量 291,673,442kWh

イ．収益的収支	収入	5,862,780千円	資本的収支	収入	434,542千円
	支出	5,956,115千円		支出	2,077,234千円

収益的収入は、電力料31億9,070万2千円等の営業収益31億9,415万8千円、受取利息の財務収益1,861万9千円、RDF焼却発電事業の附帯事業収益1億7,624万2千円及びRDF焼却施設受託事業収益等の営業外収益24億7,376万1千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用26億696万円、支払利息の財務費用4億5,323万9千円、RDF焼却発電事業の附帯事業費用3億5,713万9千円及びRDF焼却施設受託事業費等の営業外費用25億3,677万7千円が主なものです。

以上の結果、収支差引9,333万5千円の損失となりました。

次に、資本的収入は、一般会計出資金8,300万円とRDF発電施設建設事業等に充当する国庫補助金2億7,718万3千円が主なものです。

資本的支出は、RDF発電施設建設事業等の建設改良費14億3,819万7千円、企業債の償還金5

億3,903万7千円が主なものです。

ウ．主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業のほか、川上発電所建設事業及びRDF発電施設建設事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
宮川第一発電所改良事業	H14	139,210	139,210	既設発電所の設備改良
宮川第二発電所改良事業	H14	174,120	174,120	〃
宮川第三発電所改良事業	H14	115,240	115,240	〃
三瀬谷発電所改良事業	H14	62,239	62,239	〃
宮川ダム維持放流設備建設事業	H14	77,957	77,957	最大出力約180kW
川上発電所建設事業	H11～16	1,678,000	15,225	最大出力約1,200kW
RDF発電施設建設事業	H11～14	2,237,092	739,216	最大出力約12,050kW

一口メモ

収益的収支... 当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。

資本的収支... 住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。